

■同時発表先：中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、各務原市政記者クラブ

中部地方初！ 大学と「道の駅」の連携！ 就労体験型実習 基本協定締結式を開催します



「道の駅」には地域の観光資源や魅力を語る人材が集まっており、地域の課題を解決する拠点となっています。

一方、将来の地域活性化の担い手となる人材育成、確保を図るため、実践的な就労体験等を通じた学習機会の創出が必要です。

このたび、中部学院大学（学長 古田善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐多恵子）と全国「道の駅」連絡会（会長 遠野市長 本田敏秋）で、「道の駅」を舞台に就労体験型実習を進めることを合意し、下記の通り、協定を締結することとなりましたので、お知らせします。

○日 時：2015（平成27）年4月8日（水）11時00分～11時30分

○場 所：中部学院大学 関キャンパス 本館2階大会議室
岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地

○出席者：中部学院大学 学長 ふるた よしのり 古田 善伯
全国「道の駅」連絡会 事務局長 かど ゆ かつのり 角湯 克典

※取材対応可能です。

〈問い合わせ先〉

全国「道の駅」連絡会事務局 代表：03-5621-3188 FAX：03-5253-1618

担当：たがみ たかし はこやま たいき 田上 貴士、箱山 大樹 （一般財団法人日本みち研究所内）

中部学院大学 教育研究支援部研究支援課 TEL:0575-24-2238 FAX：0575-29-3000

担当：浅野 かをり

「道の駅」就労体験型実習に関する基本協定締結式 概要

1. 日 時 平成27年4月8日（水）11時00分～11時30分
2. 場 所 中部学院大学 関キャンパス 本館2階大会議室
（岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地）
3. 式次第 （進行 国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所）
 - 1) 開式
 - 2) 出席者紹介
 - 3) 概要説明
 - 4) 調 印 全国「道の駅」連絡会 会長 遠野市長 本田 敏秋
代理 全国「道の駅」連絡会 事務局長 角湯 克典
中部学院大学 学長 古田 善伯
中部学院大学短期大学部 学長 片桐 多恵子
 - 5) 挨拶 全国「道の駅」連絡会 事務局長 角湯 克典
中部学院大学 学長 古田 善伯
中部学院大学短期大学部 学長 片桐 多恵子
 - 6) 閉式
4. 質疑応答（記者ブリーフィング）
5. 出席者
【道の駅】全国「道の駅」連絡会会長 代理 事務局長 角湯 克典
【大 学】中部学院大学 学長 古田 善伯
中部学院大学短期大学部 学長 片桐 多恵子 他

「道の駅」と大学の連携について

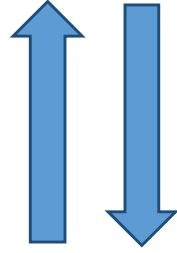
- 「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の就労体験や交流の場として活用。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、新たな価値の創造を図る。
- 道の駅と大学のニーズに応じ、「連携企画型」と「就労体験型」の2種類の形で実施

実施イメージ



大学（観光学部等）

指導・助言

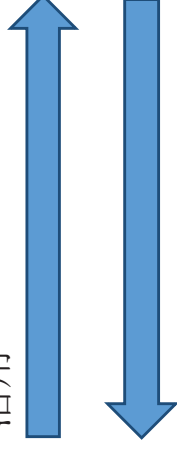


相談



学生

若者の視点・スキル等の活用



就業体験の場の提供
田舎暮らし・地域との交流



「道の駅」

※全国「道の駅」連絡会で
双方のニーズをマッチング

これまでの実施例

＜連携企画型＞



京都府亀岡市、南丹市、
京丹波町の道の駅

・京都精華大学の大学生が、道の駅で販売するスイーツパッケージデザイン



包装デザイン打合せ

＜就労体験型＞



「霧の森」(愛媛県四国中央市)

- ・地元イベントの企画立案、実施補助のほか、道の駅内で製造されている地元名産品の製造・販売の補助を実施。
- ・H25年度は10名受け入れ、うち7名は関西圏の大学から参加

- ・H15からこれまで約110名が実施
- ・そのうち2名が「道の駅」へ就職



大学生が企画したイベント



地元名産品「霧の森大福」



「かなん」(大阪府河南町)

・道の駅と大阪府立大学の大学生のコラボによりオリジナル弁当を開発



道の駅弁当「かなん冬の恵み」

| 項目 | 連携企画型 | 就労体験型 |
|------|---|---|
| 概要 | 「道の駅」側と大学側でお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を行うもの | 「道の駅」の運営業務において、若者の視点、感性やITスキル等を通して新たな行動や発見を期待するもの |
| 内容例 | 地域巡りツアー企画、商品開発、売場改善等 | イベントの企画・運営、新しい観光資源の発掘 農作業の体験、地元産品を使った商品開発 物産販売の補助、HP等による情報発信の提案・実施等 |
| 期間 | 通年の授業の中での通いを想定 | 概ね2週間以上の長期宿泊型を想定 (夏期休暇期間活用) |
| 受入学生 | 道の駅近傍の大学を想定 | 全国の大学を想定 |
| 受入人数 | ゼミ単位(少人数～10名程度のグループを想定) | 数名 |

＜連携企画型の事例＞※道の駅ではない事例も含む

○ 観光

- ・地域巡りガイド(跡見学園女子大学)
- ・日帰り観光プラン作成(和歌山大学)

○ 商品開発

- ・地元伝統野菜を活用した道の駅弁当
(大阪府立大学)
- ・地場産品を活用したお土産品開発
(弘前大学)

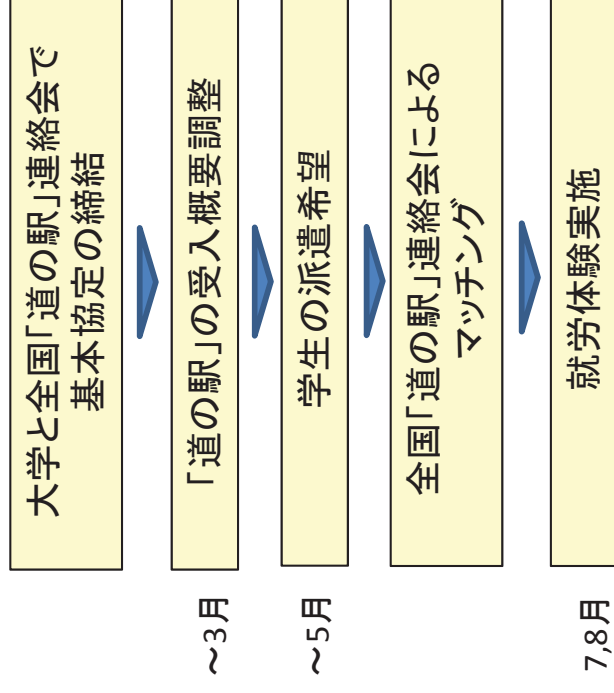
○ まちづくり・地域活性化

- ・キャンプ場を起点とした地域活性化(和歌山大学)
- ・ご当地キャラクターの発案・活用(大妻女子大学)



地域巡りガイドの様子

＜就労体験型の実施スケジュール(イメージ)＞



中部学院大学・中部学院大学短期大学部



■大学院、大学 4 学部 5 学科、短期大学部 2 学科 1 専攻、通信教育部、留学生別科

- ・大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部
教育学部子ども教育学科
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科
経営学部経営学科
- ・短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）

■現在、本学が連携を結んでいる企業

- ・アルフレッサ日建産業（2011 年～）
- ・岐阜県金属工業団地（2013 年～）
- ・岐阜新聞社（2014 年～）